

JAMP information

市町村アカデミーからのお知らせ

☆ 平成28年度 第1回から第2回までの研修申込みについて ☆

◆第1回分 申込み締切り：3月4日（金）

実施時期	科目名 ・ 組
4月21日(木) ～ 4月22日(金)	・【政】市町村長特別セミナー～自治体経営の課題～①

◆第2回分 申込み締切り：4月6日（水）

実施時期	科目名 ・ 組
5月12日(木) ～ 5月13日(金)	・【政】市町村議会議員特別セミナー～自治体経営の課題～①
5月18日(水) ～ 5月20日(金)	・【政】管理職が進める超高齢社会の医療福祉政策 ・【制】地域おこし協力隊員及び集落支援員の初任者を対象とした研修会
5月23日(月) ～ 5月27日(金)	・【制】法令実務能力の向上A（基礎）① ・【制】高度化する契約実務への対応 ・【制】地域ビジネスによる地域活性化①
5月31日(火) ～ 6月10日(金)	・【制】研修講師養成講座（地方公務員制度） ・【制】広報・広聴の効果的実践① ・【制】固定資産税課税事務（土地）
6月13日(月) ～ 6月17日(金)	・【制】公共施設の総合管理（施設の有効活用） ・【制】廃棄物処理対策と3Rの推進① ・【制】子育て支援対策
6月21日(火) ～ 6月29日(水)	・【制】情報公開と個人情報保護 ・【制】住民行政事務能力の向上 ・【制】障がい者福祉政策 ・【制】災害に強い地域づくりと危機管理①

※【政】：政策篇、【制】：制度運用篇

※各科目の詳細（課目・講師等）については、市町村アカデミーのホームページをご覧ください。

〈申込先〉 市町村アカデミー研修部 ホームページ <http://www.jamp.gr.jp>
電話 043-276-3126 FAX 043-276-8484

市町村長特別セミナー～政治と経済～

(8月20日～21日)

平成27年度「市町村長特別セミナー～政治と経済～」を、8月20日、21日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から32名の市町村長・副市町村長の皆様にご参加をいただきました。また、同時開催の管理職特別セミナーには、28名の部課長級管理職の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、これからの自治体が目指すべき方向性等について知見を深めていただくことを目的として、我が国の政治と経済の動向について、各分野で活躍されている講師の皆様にご講演をいただきました。

初日は、「今後の政治の行方」と題して、政治評論家の森田実氏から、安保法案をめぐる政治状況と沖縄問題、国際関係の変化、国内情勢の流動化、2016年夏の参院選をめぐる状況などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「米国・中国・日本の関係がわかりやすかった」「政治の流れをいろいろな角度から考える良いきっかけとなり、有意義であった。」などの感想をいただきました。



森田 実氏



久能 靖氏

次に、「皇室は今」と題して、皇室ジャーナリストの久能靖氏から、皇族・皇室の人数と範囲、宮家が現在の数になった経緯、天皇皇后両陛下のご日程などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「皇室の知り得ない現実が詳細に説明され興味深かった。」「現在の皇室の状況や課題などを聞き、今後の皇室報道に対する関心が高まった。」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、ヴァイオリニストの小野明子氏、ギタリストの益田正洋氏による「ミニコンサート」が開催されました。参加者からは、「ヴァイオリンとギターの共演は珍しく、奏でるハーモニーが新鮮で、感動的であった。」「とても癒された。芸術にふれることの素晴らしさを感じた。」などの感想をいただきました。高いレベルの演奏やアーティストとの交流を楽しむことができ、文化芸術による地域活性化手法の参考となる演奏会でした。



ミニコンサートの様子



宮家 邦彦氏

2日目は、「国際戦略の行方～マネーとパワーの地政学から日本外交を考える～」と題して、外交政策研究所代表の宮家邦彦氏から、地政学リスクとは、地政学的分析によるイラク、ロシア、中国、イギリスの情勢などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「様々なデータや歴史的な経過、地政学的な各国の立場が具体的に示されてわかりやすかった。」「世界情勢の分析の中で日本のとるべき方向がよく理解できた。」「グローバルに物事をとらえていく必要性を感じた。」などの感想をいただきました。

最後に、「アベノミクスと日本経済の行方」と題して、大阪経済大学客員教授・経済評論家の岡田晃先生から、アベノミクスがもたらした大転換、今後の景気の見通しと日本経済の展望などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「現在の財政・金融・企業経営について丁寧な説明をしていただき理解できた。」「観光立国をも視野に入れた今後の日本の経済戦略、地域の活性化をアベノミクスの行く末への期待感とともに見ていく大切さを感じた。」などの感想をいただきました。



岡田 晃先生

セミナー全体については、「著名な講師による特別セミナーは大変有意義であった。普段なかなか聞けない内容の話もあり、大変参考となった。」などの感想が参加者から寄せられました。

「巡回アカデミー」（青森県・北海道研修） の実施について

市町村アカデミーでは、平成27年度から、アカデミーでの研修受講が困難な地域において、当該地域に出向き、広域研修機関と連携して、アカデミーにおいて実施している高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を本格的に実施しています。

実施初年度である平成27年度は、青森県及び北海道において研修を実施しました。研修生からは、「著名な講師の講義を地元で受けることができてよかった。」「アカデミーに行くのに比べ旅行時間が短く、参加しやすかった。」「近い場所で受講できるので精神的負担が軽く、参加しやすかった。」などの声をいただきました。

1 青森県研修「長期ビジョンの策定と実践」

平成27年9月28日から30日までの3日間、青森市の青森県自治研修所において、青森県との共催で、「長期ビジョンの策定と実践」研修を行いました。

研修には、青森県内の各地からご参加いただき、開講式には青森県の三村申吾知事もお見えになりました。



林 省吾学長あいさつ



三村 申吾青森県知事あいさつ



牛山 久仁彦先生

28日は、開講式の後、「長期ビジョン策定の意義と役割」のテーマで、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦先生から、20年、30年先を見据えた住民主体の長期ビジョンを策定することの必要性やその手法などについてご講義をいただきました。研修生からは、「講義は具体的で分かりやすく、広範な住民意見の吸い上げのための手法が参考になりました。」などの声がありました。

続いて、「超高齢社会における地域機能のあり方」のテーマで、弘前大学大学院地域社会研究科研究科長・教授の北原啓司先生から、各地で展開されているコミュニティ政策やコンパクトシティの取組みについて、様々な事例を交えてご講義いただきました。研修生からは、「多くの例を示していただき、まちづくりの理解を深めることができました。」などの声がありました。



北原 啓司先生



図司 直也先生

29日は、まず、「農山漁村におけるコミュニティの課題と対応策」のテーマで、法政大学現代福祉学部准教授の図司直也先生から、農山漁村地域のコミュニティの現状と課題、活性化の重要性とポイント、農山漁村再生ビジョンづくりなどについてご講義いただきました。研修生からは、「非常に身近な内容で、気づかされることもあり、今後に役立てていきたいです。」などの声がありました。

続いて、「地域再生～優れた人材は社会の貴重な財産～」のテーマで、鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館長の豊重哲郎氏から、鹿児島県柳谷集落（やねだん）のむらおこし事例を通して、地域再生に必要なリーダー像や地域再生の方法などについてご講義いただきました。研修生からは、「逆転の発想



豊重 哲郎氏

JAMP information

の大切さ、情熱をもって物事に取り組むことの素晴らしさについて学ぶことができました。」などの声がありました。



30日は、「将来の地域づくりの指針となる長期ビジョンをどのような内容・手法で策定すべきか」のテーマで、小グループに分かれて、討議・発表を行い、初日にもご講義いただいた明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦先生から講評をいただきました。研修生からは、「課題、手法、留意点、アイデアの観点から政策課題を考えることができ、また先生や参加者の意見を聞くことができ、勉強になりました。」などの声がありました。

2 北海道研修「長期ビジョンの策定と実践」

平成27年10月19日から10月21日までの3日間、札幌市のKKRホテル札幌において、北海道、北海道市町村職員研修センターの三者共催で、「長期ビジョンの策定と実践」研修を行いました。研修には、北海道内各地からのご参加をいただきました。

10月19日は、開講式に続いて「人口減少期における地域づくり」のテーマで、株式会社日本総合研究所調査部主席研究員の藻谷浩介氏から、今後の人口動向を踏まえた、里山資本主義的地域活性化のためのポイントなどについてご講義いただきました。研修生からは、「自分の地域が変わろうとすれば変わるということを知ることができ、やる気になった。」などの声がありました。



藻谷 浩介氏



高橋 紘士氏

続いて、「少子・高齢社会における医療・福祉・介護の現状と課題」のテーマで、一般財団法人高齢者住宅財団理事長の高橋紘士氏から、福祉の主要課題の変遷や高齢者対策の現状、地域包括ケアシステム、医療介護の一体改革の方向などについてご講義いただきました。研修生からは、「今後の社会福祉政策のあるべき姿を感じたとともに、地域の自発性の重要性を学んだ。」などの声がありました。

20日は、まず、「農山漁村におけるコミュニティの課題と対応策」のテーマで、法政大学現代福祉学部准教授の図司直也先生から、青森県研修に引き続きご講義いただきました。研修生からは、「集落点検活動など現状把握に努めることで、やるべきことが見えてくるのが分かった。」などの声がありました。



図司 直也先生



斉藤 俊幸氏

続いて、「地域資源の再発見と地域づくり」のテーマで、地域再生マネージャー（ふるさと財団）の斉藤俊幸氏から、「創発」をキーワードに、地域づくりの様々な事例を紹介しつつ、地域の競争力強化のポイントなどについてご講義いただきました。研修生からは、「地域でできることを選んで、小さい規模から始め、成功例を作って本格的に進めるという手法は参考になった。」などの声がありました。

21日は、「住民協働による自治体経営と行政の役割」のテーマで、高崎経済大学地域政策学部教授の櫻井常矢先生から、住民協働の意味と行政の役割についてご講義いただくとともに、「長期ビジョンを考えるー地域・住民のエンパワーメントの視点からー」というテーマでグループワークを行いました。研修生からは、「あいまいだった協働の定義が非常に明快になり、気づきが多く得られた。」などの声がありました。



櫻井 常矢先生

市町村議会議員特別セミナー ～災害に強い地域づくり～ (10月26日～27日)

平成27年度「市町村議会議員特別セミナー～災害に強い地域づくり～」を、10月26日、27日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から147名の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

初日は、「日本の火山活動と防災」と題して、静岡大学防災総合センター教授・副センター長、教育学部教授の小山真人先生から、火山の噴火とそれに伴う加害現象、火山対策の先進事例としての富士山の防災対策、火山噴火が我々の暮らしにもたらす自然のめぐみなどについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「火山のメカニズム、それに合わせた対応が良く分かった。」「火山のタイプによりいろいろな性質があることを知ったことは、防災対策の力となります。」などの感想をいただきました。



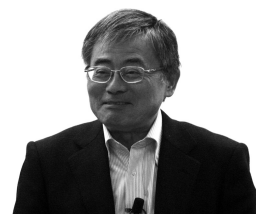
小山 真人先生



鍵屋 一先生

次に、「災害時の要援護者支援」と題して、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授の鍵屋一先生から、東日本大震災を踏まえた要援護者支援の考え方、要援護者に対する避難誘導や避難所での支援などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「すぐにやらなければいけない課題を整理することができた。」「具体的な内容で、すぐに防災体制づくりに着手したいと思った。」などの感想をいただきました。

2日目は、「災害時の議会の役割」と題して、山梨学院大学法学部教授・大学院研究科長・博士の江藤俊昭先生から、震災発生段階から見る議会の役割、平時における災害時の計画策定の意義などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「今後の議会の取組を認識し実行する上で、極めて有意義な講演であった。」「平時での議員としての活動が大事であるという視点が良く分かりました。」などの感想をいただきました。



江藤 俊昭先生



平田 武氏

最後に、「東日本大震災被災地・南相馬市議会の経験とこれからの防災対策」と題して、南相馬市議会議長の平田武氏から、東日本大震災における南相馬市の被害状況と市議会の活動状況、原発事故からの教訓（南相馬からの問題提起）、広域的な援助体制の確立と長期的な支援体制の確立などについて、ご講演をいただきました。参加者からは、「当事者の議会としての取組が良く理解できた。」「私達はこの問題を他人事にはしてはいけな

いと感じました。」などの感想をいただきました。

セミナー全体については、「各方面からの一流の先生のお話で、大変刺激的でした。」「自分の自治体の問題解決の糸口となった。」「全国の議員の方と面識が持てたことは大きな収穫でした。」などの感想をいただきました。